

Y14a 病院や社会福祉施設等における、「星空」を媒介としたコミュニケーションイベントの可能性

鈴木裕行 (筑波大学)

筑波大学の学生を中心として集まったボランティアグループ UNICO(ユニコ) は、「星空」や「宇宙」をテーマに社会貢献活動を行っているグループで、理学の学生だけでなく工学や芸術、看護、医学といった多くの分野の学生にて構成されている。現在は病院を中心に活動を展開しており、患者さんや職員さんと宇宙を媒介に直接コミュニケーションを取ることで、人々の「つながり」を作り、宇宙の壮大なスケールに驚きや感動に対して「きづき」を、また、それらを媒介とした「やすらぎ」を提供する事を目的として諸活動を行っている。筑波大学附属病院では、現在まで、天体観望会、星空のお話会、七夕をテーマとした院内のお祭りなど様々なイベントを開いてきた。多くの患者さんや職員さんに楽しんでもらい、活動の重要性を認識してきた。本講演では、諸イベントの実施報告に加え、病院以外での活動の報告、また、7月に筑波大学附属病院にて予定している「七夕星まつり」の実施報告も行う予定である。